

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和07年06月20日(金)

1. 基本事項

施策		道路・交通環境整備の推進	期間	令和5年～令和9年	施策担当課名	都市整備部 都市計画課
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち	目的・対象	道路整備を計画的に行うとともに、パトロールや橋りょうの点検により、適切に維持管理を行い、誰もが安全で快適に利用できる道路空間を確保していくことを目的とする。		
	中項目	2 交通アクセスの便利なまちづくり				
	小項目	1 道路・交通環境整備の推進				
	主要プロジェクト					
重要度・満足度	安全かつ快適な道路環境への市民の重要度は高く、逆に満足度は低い状況となっている。		施策推進のための主な取組	交通の円滑化及び利便性向上を図るため都市計画道路等の整備 市道の安全を確保するため、路面や構造物の維持管理 橋りょう管理のため調査、設計、補修を実施		
施策を取り巻く社会状況等	高度成長期に建設された施設の老朽化に加え、気候変動、大規模地震の発生リスクに対しても安定的に機能する道路ネットワークのあり方が問われており、道路整備や維持管理体制の充実が求められている。					

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			成果指標	日常の道路利用に特に不便を感じていない市民の割合	%	44.90	49.30	49.60
	市民まちづくりアンケート	%	49.90	51.30	46.90			
	道路・橋りょう維持管理上の事故件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	管理瑕疵により保険適用となった市管理道路の事故件数	件	2.00	3.00	3.00			
	道路維持管理上の通報件数	件	-	845.00	828.00	811.00	794.00	778.00
	市民からの道路維持に関する年間通報件数	件	899.00	897.00	1,243.00			

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	拡充	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>成果指標については、全てにおいて目標に達しなかった。苦情件数の増加が著しい背景には、他市での道路陥没事故に起因した市民意識の高まりにより、事故の発生状況や原因、そしてそれに対する対策への関心へと広がった事で、地域の細部についても要望が寄せられるようになったと想定される。そのため、引き続き社会情勢に注視するとともに、道路や橋りょうの適正な維持管理及び迅速な修繕に努める必要があるため拡充とした。</p>				
			評価者	都市整備部次長兼都市計画課長 武田 直樹

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	・市内全域にわたって舗装の老朽化が進んでいる。そのため、予算を拡充し、予防保全を考慮した計画的な修繕を実施していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	・橋りょうについては、安全性を確保するための定期点検を継続し、補修の必要があるものについては、迅速にかつ確実に補修を行い、長寿命化を図っていく。対象となる工事の補助内示率が低いいため、国県に強く要望する。
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>今後も道路管理者として安全で快適な道路環境を確保していくため、予防保全を考慮した計画的な修繕及び整備を実施していくことが重要である。また、橋りょうについては、長寿命化計画に基づく計画的な対応が重要である。これらの取組を通じて市民等に対して、より良い道路環境を提供し、市域全体の安全性と利便性の向上を図る必要がある。</p>	
所属長	都市整備部長 今井 吾郎